



国際ロータリー2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2241回 例会プログラム

- 例 会 場／YMCA東山荘
- 開 会 点 鐘／12:30
- ロータリーソング／奉仕の理想
- 内 容／第1回クラブフォーラム 全員

会 員 慶 事

- 皆出席／8月10日 藤田昇司君（16年）
- 8月10日 白井良太君（16年）
- 8月12日 内海宣彦君（18年）

会 長 挨 拶

高村 繁男



皆様こんにちは、8月7日は暦の上では、早くも立秋を迎え、これを境に厳しい暑さも残暑と呼ばれるようになります。又、富士山頂では最低気温がこれまで5～6度でしたが、この日より2.5度になり、霜も降り、下界より一足早い秋を迎えました。私にとってはこの下界の残暑は非常に厳しい限りです。

さて、8月11日には、2620地区の財団委員会があり、内海宣彦財団委員長と山崎恭夫副会長に出席して頂きます。どうかお2人共宜しくお願い致します。

それでは富士山シリーズ第6回、富士山と新高山についてお話をさせていただきます。

⑥富士山と新高山

明治27年から28年に行われた日清戦争で勝利した日本に対して中国は台湾を割譲し、台湾は日本の領土となり公用語も日本語になりました。

台湾で一番高い山は日本の富士山より高く、標高3,952mの玉山（ユイシャン）という山で、時の明治天皇はこの山を新しい日本最高峰という意味を込めて新高山と名付けられました。ですから、この時代の小学校の授業では日本一高い山は新高山と教えられていたそうです。なお、余談ですが当時新高山の次に標高が高かった雪山（3,886メートル）には、次高山という名前が付けられたそうです。

明治33年4月11日、日本の人類学者 鳥居龍蔵は台湾の調査に際し、新高山の登頂に成功しました。これが記録では新高山の初登頂となっています。しかし、日本による台湾の統治は全てがうまくいったわけではなく、殊に新高山周辺では抵抗運動が続き、警察官の暗殺事件等も起こり、新高山の南方では昭和8年になってようやく日本の実質統治下になったようです。

そして、昭和9年に新高山は新高阿里山国立公園という日本の国立公園に指定され、昭和16年には有名な真珠湾攻撃の日時を告げる暗号文にも登場します。それが、「ニイタカヤマノボレ1208」です。

台湾が日本の領土であったのも、昭和20年の大東亜戦争敗戦により50年程で終わると、領有権は中華民国に移り、新高山は玉山に戻されました。ここに日本最高峰は再び富士山となるのでした。

会長挨拶用
QRコード8/9の
出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
57名	55名	53名	96.36%	98.21%

欠席者（2名）

秋田悦夫君・渡辺 巖君

※やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

奉仕を通じて平和を
Peace through Service次 回
8月30日の
例 会

★12:30点鐘
★名鉄菜館
★観光立国～御殿場市観光ハブ都市構想～
御殿場市長 若林洋平様



「会員拡大月間にちなんで」 「会員増強 その望ましい方針」

会員増強委員長
勝又重春君

I はじめに

・クラブが内外ともに良好な活動をするためには、適格な会員の増強を図り続けることです。そこで、本日の例会卓話のテーマに基づき、「方針のキーワード」と「参考指数」を用意しました。

- ◆「会員増強方針のキーワード」は、1)「潮目」、2)「活性」、3)「魅力」の3点です。
- ◆「会員増強および会員選考委員会の委員指数」
 1. 増強・選考委員（7名）は平均在籍年数＝31.3年、入会時平均年齢＝39.6歳（32～44歳）。
 2. クラブの会員数最大年は1996～97年、65名（うち名誉会員1名）、その後、61～62名で推移。

II 会員増強・課題

- ◆有意義で、楽しいロータリーのためには、短期・中期的な会員増強を展望し、次世代とともに「望ましい増強方針」をたてる必要があります。
- ◆「望ましい増強方針」への課題
 - 1)「潮目」：創立50周年に向けて増強目標・第2620地区等へのスタンス
 - 2)「活性」：現会員平均年齢65.04歳への対応・会員共有の協働事業の創出研究
 - 3)「魅力」：例会の楽しみ、会員力（リーダーシップ）の向上・有意義な事業、地域社会への貢献等の実践

III 会員増強・指針

- ◆この指針は、国際ロータリーの毎年度テーマにも見出すことができます。すなわち、ロータリーのトップ指導者が示す言葉や行動テーマには、特に、感銘を覚え示唆を得ることができます。
- ◆ロータリーの創始者「ポール・ハリス」は、“世界は常に変化している。ロータリーは、この世界と共に、変化していかなければならない”とも述べています。
- ◆ロータリーでは、度々、J・F・ケネディ米国大統領就任の言葉が引用されます。
“アメリカ国民よ。政府が何をしてくれるのかを言うのではなく、国民が政府に何をしえられるか。国民が政府にどんな貢献が出来るか。”～この言葉は、国民を会員に、政府をロータリーに置き換えてみましょう。
- ◆高野孫左衛門・第2620地区ガバナーは、地区会員増強・維持セミナーにおいて、次の通り語りかけました。

1. 真剣な会議を起こす、2.「四つのテスト」を、3. 活性化は時間がかかる、速く種をまく、4. ロータリーの分かりやすい説明と情報を、5. 多様性に対応を（女性会員・新会員等）

IV 会員増強・意見

- ◆今日の例会卓話に際して、会員増強および会員選考委員（7名全員参加）による意見交換・懇話会を開きました。また、13年前（1999～2000年度）の新会員推薦経験者による意見交換・懇話会の資料も報告しました。しかし、意見交換などの文面掲載は、量が多いため割愛いたします。

V 会員増強・行動

- ・会員増強の行動姿勢は、会員数の純増と現会員力の向上を、同時に目指すものと思います。
- ◆量的な増強について
 - ・会員は1年間1名以上の候補者情報の提供
 - ・会員増強委員会も自らの若返り化
 - ・「未来の会員バンク」構想等
- ◆質的な増強について
 - ・クラブフォーラム等の会員力向上・勉強会開催（会員のパワーアップ）
 - ・ロータリーに関する研修会への会員派遣等（同上）
 - ・（仮称）知恵袋委員会の開催検討等（ベテラン会員により編成）
- ◆行動への最大課題
 - ・ただ一つ、全会員の取り組み姿勢。つまり、全会員が出来ることから実行するか、どうか。これに尽きるようです。

VI 会員増強・結び

- ◆「結び」は、会員増強のための“3本の柱”として、
 1. 5年後の「創立50周年」の共有目標を
 2. “中心軸を若い会員に、全会員の支えのもと”
 3. クラブ会員一丸の“魅力づくり”
- ◆わがクラブでも、会員増強・選考を通じてベテラン会員には「誇り」を、中堅会員には「感動」を、新会員には「明日への夢」をもたらすよう、努めようではありませんか。



司会者
勝又彦彦君



ソングリーダー
豊山 篤君



出席報告
大和田浩二君



会員誕生日
小早川豊一君
土屋閣正君
斉藤礼志君



ポールハリスフェロー
秋田 敬君・豊山 篤君



マルチプル
ポールハリスフェロー
勝又 洋君・望月 茂君

7/26のメーキャップ

7月14日	米山記念館	鈴木榮一君
7月25日	長 泉 R C	内海隆治君
7月27日	裾 野 R C	井上 元君
8月 1日	長 泉 R C	豊山 篤君
8月 3日	裾 野 R C	勝間田太住君



第2620地区
御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.jp/>

会 長○高村 繁男
幹 事○臼井 良太
会報委員長○秋田 敬